

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載））

【第21回】

和光キッズクラブ ～地域に支えられて多彩な活動を展開～

大阪府寝屋川市立和光小学校長 丸山 涼子

『和光キッズクラブ』は、放課後や休みの日にスポーツや文化活動を通して地域の大人が次代の担い手である子どもの健全育成を図る場として、平成17年7月に発足しました。

本校では、「放課後や休みの日の子どもの過ごし方に関心を持つことが大事」との観点から、特定の団体やPTAのみが受け皿になるのではなく、子どもの成長に関心を持つすべての育成団体や自治会・婦人会その他地域の多くの人々の協力を得て「和光キッズクラブ実行委員会」を設置。運営内容をよりよいものにするために、毎月定例会を開いて協議を重ねています。

バレーボール・グラウンドゴルフ・校庭開放・手作り遊び・放課後の学習会などは学校で、また、各町の公民館においては、映画会・読み聞かせ・バルーンアート・ケーキづくり・囲碁将棋・寺子屋教室など、月1回以上活動を行っています。

また、定例の活動に加えて、8月には「流しそうめんとナイトシアターの夕べ」、12月には「クリスマススペシャル」、2月には「もちつき大会」という【夏スペ】【冬スペ】【餅スペ】の他、「自転車講習会で免許証をもらおう」「プールでヤゴ捕り」「巨大シャボン玉」など実施。自治会や婦人会から全面的な協力をいただきながら多彩な活動を展開していることが自慢です。「地域の子は地域で育てる」と言って下さる地域に感謝！

そこに、このたび「WAKOリンピック」※¹が新たに登場。PTA父親委員会の発案を実行委員会で練り上げた「WAKOリンスペシャル」※²です。「学校に名を残そう！」という〈愛校心〉をベースに、〈公式ぞうきん〉を使つての「ぞうきんがけ競争」や「スリッパ飛ばし」「豆つまみ皿移し競争」「なわとびの1分間速跳び競争」など、まさに創意工夫のかたまり。表彰状・表彰台・メダル・月桂樹の冠まで用意して、満を持しての実施でした。細やかで熱意のある取り組みには頭が下がります。

チョコレートの金メダルも輝いていましたが、それ以上に参加した子ども達の顔の輝きが「WAKOリンピック」の取り組みの成功を物語っていました。また、多数の教職員が記念すべき「WAKOリンピック」の発足に立ち会いましたが、何よりうれしかったことは、新しい顔ぶれの保護者の協力が多数あったことでした。

現在「流しそうめんとナイトシアターの夕べ」から、夜につなげて校庭での「サマーキャンプ」を計画中です。

これからも子どもの声をはじける活動を企画していこうと、毎月の実行委員会はずっと帰る時間を忘れるほど盛り上がっています。

※1 PTA父親委員会が担当し、スリッパ飛ばし、シャトルコック投げ、1分間なわとび、36mドリブル走、豆つまみ皿移し、ぞうきんがけ競争等を実施。

※2 「WAKOリンピック」のスペシャルバージョン。自治会の全面協力の下、多彩な企画を展開。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第117号に掲載）